KDprintコンバート PDF(PostScript)出力 H23PST

(透過／上書き双方出力版)

Kernel Computer System
カーネルコンピュータシステム株式会社

本社：パッケージ販売部
〒221-0056
横浜市神奈川区金港町 6-3 横浜金港町ビル
TEL：045-442-0500　FAX：045-442-0501
URL：https://www.kernelcomputer.co.jp

特　　長

- HP-GL/2 データの透過モードの有効・無効を自動で判定し、透過モード、または上書きモードで処理をおこないます。透過モードの場合、HP-GL/2 データをイメージ化して透過処理をおこない PDF 出力します。上書きモードの場合、イメージ化せず直接 PDF へ変換します。
- コマンドラインから入出力ファイル名を入力する事で実行されます。(標準入出力が利用可能)
- 実行時に各入出力フォーマットの属性パラメータやオプションパラメータを設定が可能です。
  (多数の属性パラメータと変換オプションパラメータは用意されております。)
- PDF へ変換する時、しおりを付ける事が可能です。
- PostScript, PDF へ変換する時、マルチページの入力データを分割して出力する事が可能です。
- PDF へ変換する時、定型用紙サイズ又は入力データの大きさで出力する事が指定することが可能です。
- PDF/X-1a 準拠の PDF ファイルに変換する事が可能です。
- PDF ファイル出力時に任意のファイル(Word, Excel, イメージ、テキスト等)を添付する事が出来ます。
- PDF レイヤー出力をサポートします。
- 複数の入力ファイルを１ページの PDF ファイルに合成して変換します。
  各ファイルは PDF のレイヤーとして出力します。

操 作 方 法

H23PST は、コマンドラインアプリケーションです。通常のコマンドと同じようにコマンドラインから実行したり、バッチファイルやシェルスクリプトに組み込む事が出来ます。
Windows の場合は、「コマンドプロンプト」で DOS ウィンドウを開いて、その中で実行します。
変換時にオプションを指定したり、属性データ変換パラメータファイルの内容を変更する事で様々な変換処理が可能となります。

[操作例]

HP-GL/2 ファイル「sample.h2」を PDF ファイル「sample.pdf」に変換する場合は
以下のように入力して変換します。

```
A> H23PST sample.h2 -Osample.pdf -Zpdf_out.atr
ただいま, ファイル変換中です。

H23PST 変換終了
```

H23PST	：実行モジュール名
sample.h2	：入力ファイル名
sample.pdf	：出力ファイル名
pdf_out.atr	：出力属性ファイル名
-O	：変換結果を出力するファイル名を指定するオプション。 マイナス記号とアルファベットの「オー」です。 -O と変換後のファイル名の間には空白を入れないようにします。 変換前のファイル名と変換後のファイル名に同じものを指定する事はできません。

※オプション指定は大文字でも小文字でもかまいませんが、全角文字は使えません。
※オプションの詳細についてはオプションの項目を参照下さい。

変 換 機 能

KDprint コンバートはコマンドラインの指定により、様々な変換機能を提供しています。

PostScript/PDF へ変換する際に、それらの変換機能を利用して、次のような変換が出来ます。

- 透過モードと上書きモードを選択できます。(3 ページを参照して下さい)
- 指定された用紙サイズにスケールで拡大・縮小します。(4 ページの例 2 を参照して下さい)
- 用紙の中央に置いて(センタリング)変換します。(4 ページの例 2 を参照して下さい)
- 図面の大きさによって自動的に用紙サイズを選択します。
- 用紙方向をデータ入力方向(横図面/縦図面)に合わせます。(デフォルトは縦)
- 図面方向を回転します。
- 既存の PostScript/PDF ファイルと連結(合成)します(4 ページの例 3 を参照して下さい)
- マルチページファイルの場合、ページ毎に分割して PostScript/PDF へ変換します。
- 複数のファイルをまとめて、一つのシングルページの PDF ファイルに変換し、
  各ファイルは PDF のレイヤーとして生成します。
- 出力 PDF データを Web 表示用に最適化します。
- 任意のスケールで拡大・縮小します。
- ログファイル、変換履歴を出力します。
- バッチファイルで指定されたファイル又はディレクトリ内のファイルを一括処理します。

属性データ変換パラメータファイル

属性データ変換パラメータファイルには、初期状態では
HP-GL/2 入力データ用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・hp2_in.atr
PostScript/PDF 出力データ用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・psx_out.atr,pdf_out.atr
があり、この内容を変更する事で種々な変換が可能となります。

■入力属性データ変換パラメータ

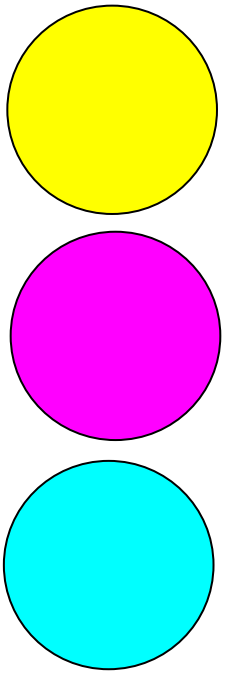
- 入力データフォーマットを変更
- 入力データの原点調整
- Vector/Raster 混在時の回転を調整
- クリップ命令の対応を調整
- 入力データの文字高さ、文字幅を倍尺で指定
- 入力データのペン番号と色番号を変更

■出力属性データ変換パラメータ

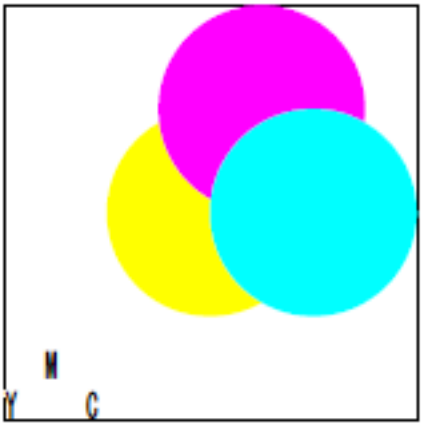
- 出力データフォーマットを指定出来ます。
- 出力データに添付するファイルを指定出来ます。(出力フォーマットが PDF の場合)
- 出力データの線幅のコントロールが出来ます。
- 出力データをカラーにする事が出来ます。
- 用紙マージンを設定出来ます。
- 出力データのフォント名称とコードを指定出来ます。(上書きモードのみ)
- テキストの出力モードを指定出来ます。(上書きモードのみ：文字列で出力する/文字単位で出力)
- 入力データの図面サイズに合わせて用紙サイズを自動選択、又は入力データの図面サイズのままで出力出来ます。
  (4 ページの例 1 を参照して下さい)
- 出力データのカラーを RGB から CMYK に変更出来ます。
- 出力データの Title、Creator、Author 名を指定出来ます。
- PDF 出力する場合、セキュリティ設定出来ます。
- 入力データを用紙サイズ毎にスケーリング機能や回転処理も可能となります。
  変換後の用紙サイズの幅と高さはユーザーによって定義する事が可能です。
  回転については、横向図形又は縦向図形のみ行う事も出来ます。

変　換　例

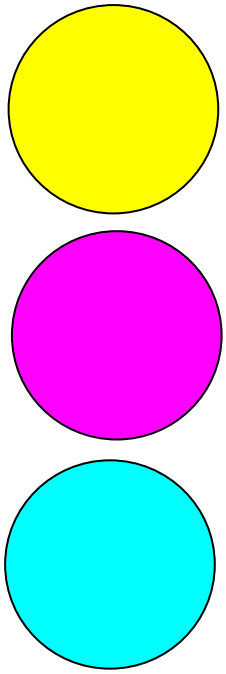
例 1：　黄色とマゼンタとシアンの円を重ねたデータを上書きモードで変換



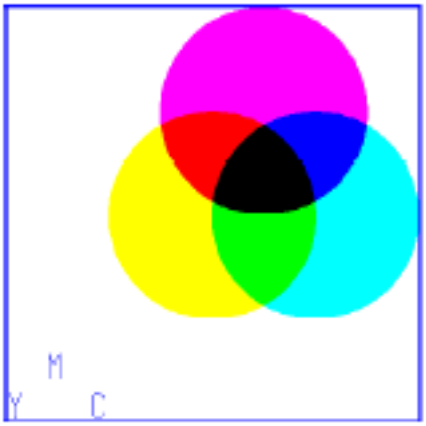
重なる部分は上書き



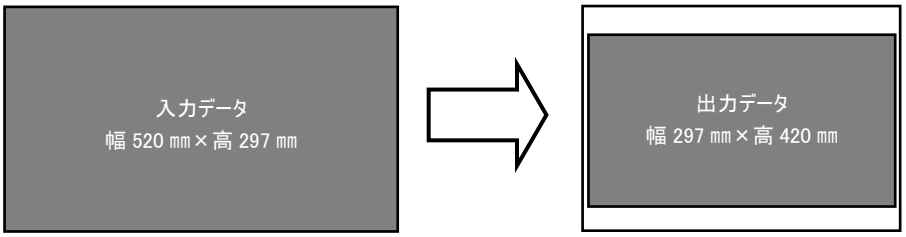
例 1-2：　黄色とマゼンタとシアンの円を重ねたデータを透過モードで変換



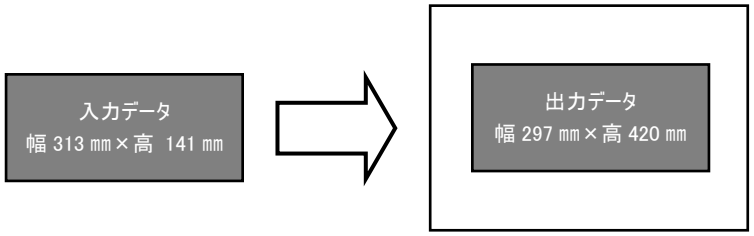
重なる部分は透過



例 2：出力サイズを A3 に指定して、A3 より大きいデータは A3 まで縮小して、A3 より小さいデータはそのまま、余白は 10 ㎜で、用紙方向をデータ入力方向(横図面/縦図面)に合わせ、出力データを用紙の中央に置きます(センタリング)。
入力データが A4 より小さい場合、A4 で出力されます。

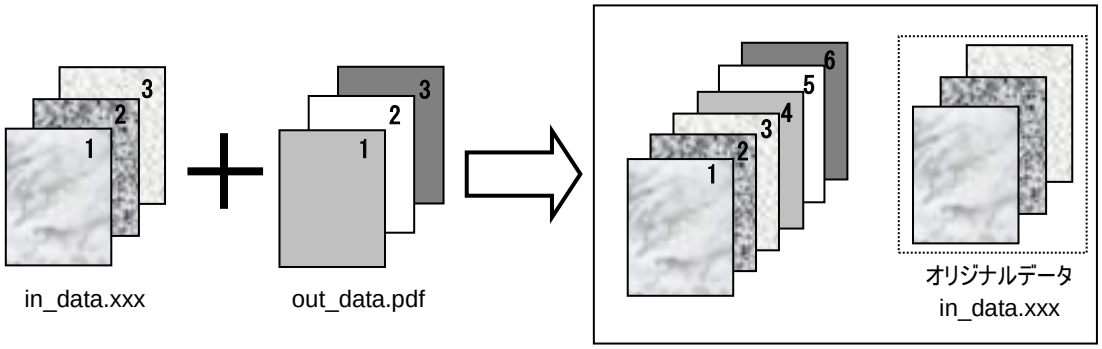


(A3 より大きいデータを縮小します。)



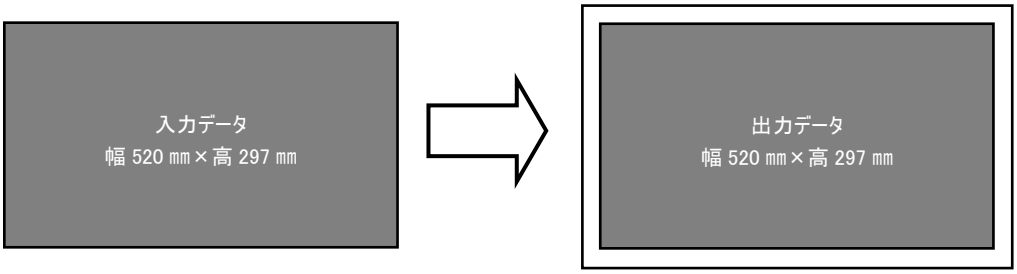
(A3 より小さいデータは等倍で出力)

例 3：出力ファイルの最後のページに追加した後、オリジナルデータを添付して出力します。



out_data.pdf

例 4：入力データの図面サイズのままで、XX ミリの余白を付けて出力します。



製 品 一 覧

製品名	機　　能	標準価格 (税抜き)
H23PST	HP-GL/2(ラスター付) ⇒ PostScript/PDF 変換 (透過モード付：イメージ化して出力)	35 万円
H2TOPST	HP-GL/2(ラスター付)(HP-GL 含む) ⇒ PostScript/PDF 変換	25 万円
HPTOPST	HP-GL ⇒ PostScript/PDF 変換	20 万円

動 作 環 境

機　　種	OS
UNIX	Solaris9 以降(SPARC) / HP-UX11i V2 以降 / AIX6.1 以降
Windows	XP / Server 2003 / Vista / Server 2008 / 7 / Server 2008 R2 8 / Server 2012 / 8.1 / Server 2012 R2 / 10 / Server 2016 Server 2019 / 11 / Server 2022
LINUX	RHEL4 以降あるいはそれに相当するカーネル 2.6 以降の x86/x64 系 Linux

制限事項

- 実行前の確認事項について
  H23PST を変換する際には、他のアプリケーションが動作していると正常変換されずにエラーが発生する場合がありますので、変換を行う前には、他のアプリケーションを終了して下さい。

- HP-GL/2 ファイルのラスターデータについて
  ラスターが混在する HP-GL/2 のデータでは、変換出来るラスターの数は 4960 個までとなります。
  ラスターの数が、4960 個を越えた場合には、エラーとなります。

- HP-GL/2 ファイルの文字セット(文字フォント)について
  変換可能な文字セットは JIS ASCII、半角カタカナ、漢字のみとなります。
  これ以外の文字セットを使用している場合は文字化けするなど文字を正常に変換することができません。